

小児看護学方法論Ⅱ	2年・後期	1単位	講師 宮澤由佳 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210752

1. 授業のねらい・概要

健康を障害されることが、子どもと家族に与える影響や、子どもの状況や環境が子どもと家族に与える影響について学び、子どもと家族に必要な看護を学習する。また、子どもにおける疾病の経過の特徴と看護について学習する。さらに、健康問題を抱えた子どもの看護を展開するための知識と方法を学習する。

2. 到達目標

1. 健康障害を持つ子どもと家族の看護が理解できる。
2. 発達障害のある子どもと家族の看護が理解できる。
3. 疾病の経過の特徴と子どもと家族の看護が理解できる。
4. NICUにおける子どもと家族の看護が理解できる。
5. 虐待を受けた子どもと家族の看護が理解できる。
6. 事例を用いて健康障害をもつ子どもの看護過程を展開できる。

3. 授業の進め方

講義・演習を行なう。視聴覚教材およびグループワークを取り入れ、内容理解を深める。自己学習ができれば課題を与える。

4. 授業計画（演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	健康障害や入院が子どもと家族に及ぼす影響	講義	予習：健康障害や入院が子どもと家族に及ぼす影響と看護部分を読む。 復習：授業資料を読み返し学習した内容を振り返る。	宮澤由佳
2	外来における子どもと家族への看護	講義	予習：外来における子どもと家族への看護部分を読む。 復習：授業資料を読み返し学習した内容を振り返る。	宮澤
3	急性期・慢性期にある子どもと家族への看護①	講義	予習：急性期・慢性期にある子どもと家族への看護部分を読む。 復習：授業資料を読み返し学習した内容を振り返る。	宮澤
4	急性期にある子どもと家族への看護②	講義	予習：RSウイルス感染症、小児気管支喘息、急性気管支炎、急性細気管支炎、肺炎、急性腎障害、急性虫垂炎、腸重積、熱性けいれん部分を読む。 復習：授業資料を読み返し学習した内容を振り返る。	市村路子
5	手術を受ける子どもと家族への看護	講義	予習：手術を受ける子どもと家族への看護、先天性食道閉鎖症、鎖肛、ヒルシュスプリング病、二分脊椎、口唇口蓋裂部分を読む。 復習：授業資料を読み返し学習した内容を振り返る。	市村
6	慢性期にある子どもと家族への看護②	講義	予習：糖尿病、食物アレルギー、川崎病、心室中隔欠損症、心房中隔欠損症、ファロー四徴症、腎炎、ネフローゼ症候群、読む。 復習：授業資料を読み返し学習した内容を振り返る。	市村
7	検査・処置を受ける子どもと家族への看護	講義	予習：検査や処置を受ける子どもと家族への看護部分を読む。 復習：授業資料を読み返し学習した内容を	宮澤

			振り返る。	
8	小児看護過程概説・演習	講義 演習	予習：健康障害を持つ子ども・家族への看護過程の展開部分を読む。 復習：授業資料を読み返し学習した内容を振り返る。	市村
9	小児看護過程演習	演習	予習：事例の子どもの発達段階・疾患・治療・看護について調べる。 復習：事例の看護過程の展開について振り返る。	市村
10	小児看護過程演習	演習	予習：GW に向けて、事例について自分の考えをまとめ、メンバーに伝えられるようにする。 復習：GW での学びを振り返る。	市村
11	小児看護過程演習	演習	予習：発表資料内容を確認する。 復習：発表での学びを振り返る。	市村
12	小児看護過程演習	演習	予習：発表資料内容を確認する。 復習：発表での学びを振り返る。	市村
13	在宅における子どもと家族への看護	講義	予習：在宅における子どもと家族への看護部分を読む。 復習：授業資料を読み返し学習した内容を振り返る。	宮澤
14	終末期にある子どもと家族への看護	講義	予習：終末期ある子どもと家族への看護部分を読む。 復習：授業資料を読み返し学習した内容を振り返る。	宮澤
15	災害を受けた子どもと家族への看護 被虐待児と家族への看護	講義	予習：災害を受けた子どもと家族への看護、被虐待児（虐待を受けている可能性のある子ども）と家族への看護部分を読む。 復習：授業資料を読み返し学習した内容を振り返る。	宮澤

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は 2/3 以上出席した者）80%，レポート課題等 20%で総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護 メディカ出版
 ナーシング・グラフィカ 小児看護学② 小児看護技術 メディカ出版
 ナーシング・グラフィカ 小児看護学③ 小児の疾患と看護 メディカ出版

参考文献：系統看護学講座 小児看護学 1 小児看護学概論・小児臨床看護学総論 医学書院
 系統看護学講座 小児看護学 2 小児臨床看護各論 医学書院

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準ずる程度の具体的学習内容

次回講義内容のテキスト該当箇所の予習（30 分程度）と復習（30 分程度）をすること。

8. 受講上の留意事項

小児看護学概論，小児看護学方法論Ⅰで学習した内容と関連させながら主体的に参加することを期待する。小児看護学実習の先修科目である。

遠隔授業：オンデマンド型の場合は，1 回分の内容を最後まで見ること。

対面授業：遅刻，欠席ならびに授業中の私語，許可の無い教室の出入り，授業に関係ない言動は慎むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が確認し，内容に不備のあるものは再提出を求める。

試験終了後口頭で試験問題の解答解説を行うか，解答を掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と街頭授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

医療機関における看護師としての実務経験を活かして，講義・演習を行う。